



GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橘通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL0985(38)8821
FAX0985(38)5028

宮崎県最低賃金 時間額 793円

改定されましたよ

JR宮崎駅前でリーフ入ポケットティッシュ500個配る

改定された最賃リーフを配る名田局長(左)



自分の最低賃金、ちゃんと調べようね。



守ってね！最低賃金。

10月3日から宮崎県最低賃金が時間額793円に改定されることを広く周知するために、名田労働局長ら宮崎労働局職員7名が、最低賃金改定日前日の10月2日早朝からJR宮崎駅前でリーフレット入りポケットティッシュを配布しました。

用意した約500個のポケットティッシュは、通勤者・通学者などにすべて受け取っていただき、この様子はテレビ・新聞でも報道されました。本年ポスターは俳優の“のん”さんを起用し、「守ってね！最低賃金。」と呼びかけています。使用者の方、労働者の方もこの機会にぜひ最低賃金額を下回っていないか確認をお願いします。

宮崎県最低賃金は、昨年までの5年間で時間額113円の引上げとなっていますが、本年はコロナ禍という特殊な状況であるため、中小零細企



JR宮崎駅前でリーフレット入りのポケットティッシュを受け取る通勤の皆さん

業への影響が懸念されます。

そのため、生産性向上を伴う賃金引上げを目指す中小企業に対する助成金を始めとした支援制度も用意しておりますので、助成金等の活用をお考えの場合には、当局雇用環境・均等室または「みやざき働き方改革推進支援センター」にお問い合わせ下さい。

宮崎県での就職 賃金額だけで決めないで 雇用・労働リテラシー講座で講演



オンラインで講演する大原部長

10月19日、宮崎公立大学において、連合宮崎主催の「雇用・労働リテラシー講座」が開催。大原職業安定部長がオンライン講義を行いました。

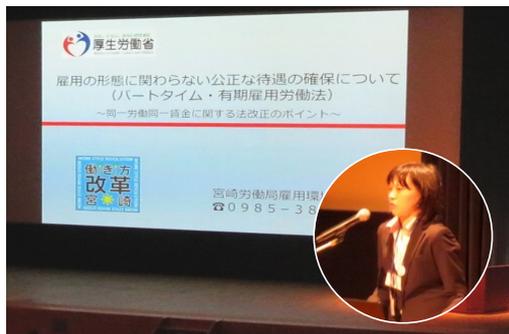
大原部長は宮崎県内で就職することの選択肢について、「賃金額は全国平均よりも低くなっています。しかし、一方で物価は全国一安いため、額面だけで判断することは適切ではありません」と述べ、統計に基づいて分析・判断する重要性を強調しました。

育児介護休業法など変わります

宮崎市で開催した説明会に500名が参加



説明する赤木指導係主任



来年4月)されたパートタイム・有期雇用労働法について「正規職員には支給されていて非正規には支給されていない各手当がないか、支給基準を見直すなど検討してほしい」など具体的に説明しました。

併せて、今年6月から施行された改正労働施策総合推進法(パワーハラスメント防止措置・中小企業への適用は令和4年4月)については「まず相談窓口を設けるなどのパワハラ防止規定をつくることから始めましょう」と呼びかけました。その他、労働局が取り扱っている各種助成金についても説明。参加者からは、「早速、就業規則など規程等の改正に取り組みたい」などの感想が寄せられました。

宮崎労働局は10月21日、宮崎市において「改正育児介護休業法・同一労働同一賃金に関する説明会」を開催。説明会には県内約400事業場から500人を超える代表者や人事労務管理者が参加しました。

説明会では、来年1月から「子の看護休暇や介護休暇が時間単位で取得できるようになること」や、今年4月から施行(中小企業への適用は



男性育休取得で良いことが

「育休男子は語る」トークセッション開催

育児取得状況等を説明する狭間室長



9月27日、宮崎市男女共同参画センター主催で、育児休業を取得した男性や事業者によるトークセッションが開催されました。宮崎労働局からは狭間雇用環境・均等室長がパネラーとして参加。コロナ禍での働き方改革や国内及び海外での育児休業制度の内容、男性の取得状況、事業者の好事例などについて話をしました。

また、育児休業を取得した男性から「仕事を離れる不安や心配はあったけど、職場に休暇を取りや

えるぼし制度を説明

女性活躍研修会

説明する清水補佐



9月28日、宮崎県による「みやざき女性の活躍推進会議9月研修会」が宮崎市で開催され、清水雇用均等室長補佐が「えるぼし認定制度（女性が活躍しやすい職場）」について説明しました。研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため清水補佐以外の講師は東京からZoomによる講演となりました。Zoomで60名、会場に18名の計78名が参加しました。宮崎労働局では、今後も女性が働きやすい労働環境づくりを推進し、女性の活躍に積極的に取り組む企業を応援していきます。

すい雰囲気がありました。妊娠が分かった早い段階から上司に相談したんです。その結果、周囲のサポートを得ることでできました」「産まれてすぐの子どもに触れる機会が多く、日々子どもの成長を感じられました。産後、妻の体調が戻りづらい時に支えることができました」「育児は気が抜けず休む間がないので、育児の大変さを知りました」などのお話がありました。

さらに、事業者の方からは「会社として男性の育児休業の取得を

過労死等防止対策推進シンポジウム

11月17日(火)

18:00~20:00

宮日会館11階ホール
宮崎市高千穂通
1-1-33
参加無料
事前申込み必要

11月は過労死等防止啓発月間



応援しています。男性が取得することによって職場により変化があったんです」なども語られ、参加者も興味深く聴き入っていました。

女性が働きやすい職場とは

～延岡鉄工団地協同組合で講演～

講演する狭間室長



10月13日、延岡鉄工団地協同組合で、狭間雇用環境・均等室長が加盟企業の事業主22名と各社の女性労働者を対象に「女性の働きやすい職場について」講

話を行いました。

講演では狭間室長は女性が働きやすい職場について、「誰もがいきいきと働ける職場であること。そのためには女性が働き続けたいと思うモチベーションを上げていくことが大事です。また労働環境や制度、職場の風土を整えることや、女性を適切に評価（処遇）することも重要」と指摘し、会社の好事例の紹介、女性活躍推進法の一般事業主行動計画の策定方法、認定などについて説明しました。

65歳以上定年 70歳までの継続雇用の実現

生涯現役社会実現に向けて



10月21日、宮崎市において、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構宮崎支部が主催する「生涯現役実現に向けたワークショップ2020」が開催されました。宮崎労働局から大原職業安定部長が来年4月施行の「70歳までの就業確保」を中心とした改正高齢者雇用安定法や県内の雇用情勢について講演しました。

ワークショップでは定年制75歳へ引上げ事例や「継続雇用・定年



講演する大原部長

延長を考えると題したトークセッションが催され、各企業の人事担当者など約70人が参加。継続雇用・定年延長のメリットや高齢者が活躍できる環境整備の必要性について理解を深めました。